

4月。花冷えと花曇りの合間に、心地よい陽気を感じる季節だ。

先日、東京にて泊りで順天堂大学糖尿病教室の先生方による集中講義を受けた。病気の考え方や治療の進化を学び、演者の熱意を取り込みつつ、翌日の外来診療に向かおうと思った。

糖尿と診断を受ける以前に、既に体内で不可逆的変化が起こっていること。ゆえに、判明したと同時に積極的治療が必須であること。死因はかつての動脈硬化(脳・心臓)以上に癌の比率が高まってきたこと、などに同意。

ただし、大病院の先生方は専門を追求し、患者さんに強要しすぎるきらいがあり、私ども一般開業医とは患者さんへのアプローチが異なるのも事実だ。

つまり、①可能な限り「なんでも診る」医者であること。②楽しく生きるための健康保持なのだという価値観を患者さんと医者がお互いに共有する必要があること。(だから、医者の私が健康で楽しく働き生活している大切な意味を持つと思う)

これらが超専門医と一般開業医の違いのように思える。①と②を引き続き実践していくと考えた。

新入生の元気さと、桜の花の萌え上がる勢いをいただける今こそ、固い甲羅を破って活動し始める好期だ。さっそく陽気に誘われて皆様も外に出歩いてみませんか。

ハーブ内科皮膚科 理事長 竹内 秀俊

お知らせ

ホームページをリニューアルしました♪

ホームページのリニューアルに伴い、『スタッフブログ』もはじめました！

デイサービスやグループホームの様子など、写真つきで毎週更新していますので、ぜひぜひご覧ください(*^▽^*)

<http://ha-bu.net/>

ハーブ内科

検索



【回想法・学習療法デイサービス】

3月の行事といえば、何といても“ひな祭り”

デイサービスでも、ひな祭りにちなんだゲームやクイズで楽しんで頂いたり、米粉を使った『おこしもの』作りにチャレンジしたりとプログラムいっぱいのひな祭り会を行いました。



雛飾りは、お嫁に行けるように3月3日には片付けないといけいと言われているのですが、最近は後ろを向かせておけば良いというスタッフの話には利用者様も苦笑い。最後にお内裏様とお雛様に扮して“ハーブ雛”に変身して頂き記念撮影会！！

少々照れながらも素敵な笑顔の写真を撮らせて頂きました。

【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

グループホーム ハーブゆいまあるでは午前中の時間をつかって「頭の体操」を毎日おこなっています。どんなお話をしているのでしょうか？

「春だで、ええ季節になってきたもんね。梅が咲く時期だね」「鶴舞公園行った事ありますよ、桜がきれいだもんね」

暖かい春が近づくにつれて、お花の話題がたくさん聞こえてきます。「お花見て、美味しいもの食べたいね～！お茶飲んで、お菓子食べてね」と食べ物話になってしまうことも。『花より団子』美味しい食べ物話は尽きませんね♪



発行元: 医療法人ハーブ内科
(株)ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753